

第六十三回  
帝國議會貴族院

# 米穀需給調節特別會計法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

昭和七年九月二日(金曜日)午後三時十六分開會

○副委員長(子爵井上匡四郎君) ソレデハ

午前ニ引續キマシテ、米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開キマス、實ハ午前ノ會議デ私ハ特別委員會ノ散

マデ會期ノ延長ガ延長セラルルヤ否ヤ明確

デナイヤウナ狀態デアリマス、而シテ委員

課ノ解釋ヲ聞キマスト云フト、特別委員會ハ其委員ニ全部通知ガ行キ瓦リマス場合ニ

於キマシテハ、一旦散會ヲ命ジタ特別委員

會モ、再び開會スルコトガ適法デアルト云

○子爵片桐貞央君 質問シテ宜シウゴザイ

マスカ

○副委員長(子爵井上匡四郎君) 宜シウゴ

ザイマス

○子爵片桐貞央君 私ハ此法律案ノ初メニ御

説明ニナリマシタ時ニ遲クナリマシテ或ハ

御説明ニナッテ居タカ存ジマセヌガ、聞キ

漏シマシタカラ一應伺ヒマス、此法律案ニ提

案ノ致シ、併セテ米穀需給調節特別會計法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

案ヲ致シ、併セテ米穀需給調節特別會計法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

ガ出テ、衆議院デ三千万圓ヲ増加シテ、四億八千万圓ニセラレタ、其三千万圓ト云フ

モノハ、米穀需給調節特別會計法ノ中ニアッタ所

謂朝鮮米其他ノ買上げ其他ノ方法ノ費用

ヲ、米穀需給調節特別會計法ノ中ニ入レテ、

米穀應急施設法案ハ否決サレタト云フコト

デアリマス、サウシマスト此三千万圓ヲ米

穀需給調節特別會計法ノ中ニ入レマスコト

ニ付キマシテハ、衆議院ニ於テハ三千万圓

ノ使用法ニ何カ制限ヲ與ヘテ居ラレルノデ

アルカ、只今衆議院ノ方カラ提出ニナッタ

米穀法改正案ノ中ニ、其事ガ明記セラレテ

居リマスカ、若シ明記セラレテ居ラナイト

シタナラバ、之ノ運用法ハドウ云フ風ニナ

ルノデスカ、政府ガ詰リ四億五千万圓デア

ルノヲ三千万圓殖ヤシタ四億八千万圓ヲ自

由ニ使用スルコトガ出來ルノカ、朝鮮米ヲ

ドノ位買入レテ宜イカ、或ハ朝鮮米ノ買入

レ其他ノ方ヲ少クシテ、内地ノ米穀ノ調節

ヲ圖ル爲ニ多ク使フカ、ドウ云フ風ナ御方

針デアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(長瀬貞一君) 此點ハ最初一億

億五千万圓ヲ四億五千万圓ニスルト云フコトニ提

案ヲ致シ、併セテ米穀需給調節法ノ附則ヲ

以チマシテ更ニ三千万圓ヲ増加イタシマシテ四億八千万圓ト云フコトニ出テ居タノ

モコトニ付テハ、若モ此率勢米價其他ノ

要スル費用ノ爲ニ更ニ三千万圓ノ增加ト云

ス所ノ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、之ニ

要スル費用ノ爲ニ更ニ三千万圓ノ增加ト云

フコトガ茲ニ仄メカシテアッタノデゴザイ

マス、ソコデ衆議院ニ於テ是ガ否決ニナ

リ、サウシテ米穀法ノ改正トナッテ現ハレ

マスルヤウニ、此修正案ガアリマシタ時ノ

ノ使用法ニ何カ制限ヲ與ヘテ居ラレルノデ

アルカ、只今衆議院ノ方カラ提出ニナッタ

矢張リ是ハ元ノ政府ノ趣旨通リニ、朝鮮米、

臺灣米ノ買入ト云フコトノ爲ニ、金額ガ増

加スル、其爲ニ米穀法ノ改正案ニ於キマシ

テ、買入ト云フコトヲ加ヘマシテ、更ニ此

シテ只今カラ特別委員會ヲ開會イタシマス

シタナラバ、之ノ運用法ハドウ云フ風ニナ

ルノデスカ、政府ガ詰リ四億五千万圓デア

ルノヲ四億八千万圓ト修正スルノデアル、斯

マスカ

○政府委員(長瀬貞一君) 若シ政府ノ原案

ノヤウニ定マル場合ニ於キマシテモ、矢張リ其三千万圓ト云フモノハ、元々政府ノ應急施設法ハ、臺灣米ノ買入、賣渡、貯藏ト

云フコトノ爲ニ、三千万圓ト云フモノヲ認メテ居リマシタノデアリマスカラ、其趣旨ハ

スカ

○政府委員(長瀬貞一君) 若シ政府ノ原案

ノヤウニ定マル場合ニ於キマシテモ、矢張リ其三千万圓ト云フモノハ、元々政府ノ應急施設法ハ、臺灣米ノ買入、賣渡、貯藏ト

云フコトノ爲ニ、三千万圓ト云フモノヲ認メテ居リマシタノデアリマスカラ、其趣旨ハ

變ラナイデ行クコトガ適正ト考ヘテ居リマス

○男爵三須精一君 此米穀需給調節ノ爲ニ、

一億圓ヲ限度トシテ擴張サレマシテ、ソレニ付キマシテ、借入金全部ガ米ノ買入バカ

リデナク、他ニ何カ利息ノ支拂トカ、或ハ

其他ノ費用ガ入ジテ居リマスカ、ドウ云フ

ヤウナ意味ニナッテ居リマスカ

○政府委員(長瀬貞一君) 只今御尋ノ點デ

ゴザイマスガ、此點ハ今年ノ天候……或ハ

十一月ニ更ニ發表スルコトニ相成テ居リ  
マスルガ、米穀ノ殘損米現在高ノ發表デゴ  
ザイマストカ、或ハ第二回ノ米穀實收豫想  
ト云フ色ニナ分子ヲ組合セマシテ、茲ニ買  
入、賣拂ノ額ガ決マッテ參リマスルノデ、  
只今ノ所此將來ノ發動ノ量ト云フモノガ到  
底想像ガ出來マセヌ、其量ガマダ決マリマ  
セヌ結果、自然ソレニ對シマスル保管料、  
利子等モハキリ致シテ居リマセヌ、唯御  
参考ノ爲ニ申上ゲテ置キマスノハ、此六月末  
現在ノ餘力ノ推算デゴザイマスガ、ソレニ  
依リマスト、借入限度ノ三億五千万圓ニ對  
シマシテ、大約七千二百萬圓、七千二百九  
十八万圓バカリノ餘力ヲ持テ居ルノデゴ  
ザイマス、ソレデ此儘デ何ニモシナイデ居  
リマスト、保管料デアリマストカ、或ハ利  
子デアリマストカ、俸給、事務費ト云フヤ  
ウナモノヲ使ツテ參ルコトデゴザイマスル  
カラ、結局本年度末ニ參リマスルト、正味  
ノ餘力ト云フモノハ約五千三百萬圓バカリ  
ニ相成ラウト存ズルノデアリマス、從ヒマ  
シテ之ニ約一億ト云フ借入限度ノ擴張ガゴ  
ザイマスレバ、相當程度ノ活動ガ出來ハス  
マイカ、斯ウ云フ大體ノ「メド」ヲ積算ノ根  
據ニ致シマシテ、何レニ致シマシテモ將來  
ノ天候、殘存米ノ發表、收穫豫想ト云フ風  
ノ

ナ分子ガ多分ニ這入テ參リマスルノデ、今  
數字的ニ的確ナ數ハ、非常ニ殘念デゴザイ  
マスガ、チヨット茲ニ彈キ出スコトガ出來  
ナイ譯デアリマス、其點御諒承ヲ願ヒマス  
○男爵三須精一君 今一ツ伺ヒタイノハ、  
此米穀需給調節ノ爲ニ三億五千万圓ノ現在  
賣渡デアリマスガ、是ガ今マデノ利拂トシ  
テモ非常ナモノデアラウト思ヒマスガ、此  
度遞信省デハ郵便貯金ノ利ノ引下ヲ實行イ  
タサレマシテ、之ニ付キマシテ矢張リ預金  
部側ノ借入金ニ對シテモ金利ヲ下げるノガ  
當然デアラウト思ヒマスガ、サウ云フコト  
ハ遞信省ト農林省ノ間ニ何カ御話合デモア  
リマスカ

○政府委員(長瀬貞一君) 郵便貯金ノ利率  
引下ト云フコトニ關聯イタシマンテ、私共  
ハ大藏省預金部ノ方ニ對シテ交渉ヲ開始シ  
マシタ、ソレト共ニ矢張リ利率引下ヲ一つ  
御願シテ實行イタシタイ、斯様ニ考ヘテ居  
リマス

ガ爲ニ市場ニ直グ影響ヲ及ボシマシテ、同  
時ニ米商人ガ價格ノ非常ニ上ダ下ダヲ人爲  
的ニ釣上ヲスルヤウナコトガ隨分アルダラ  
ウト思ヒマスガ、之ニ對シテ當局トシテモ  
何カ適當ナ取締方法ヲ御考デアリマセウ  
カ、ソレヲ伺ヒタイ

○男爵三須精一君 モウ一遍申シマセウ詰  
リ政府ガ愈、買上ゲルトカスル場合ニ、ソレ  
ガマヅウゴザイマシタノデ……

○政府委員(長瀬貞一君) 只今ノ點ハ私共  
モ誠ニ御同感ナノデアリマス、從ヒマシテ  
モ又其以内デアリマセウカ、現在ノ所デハ  
全クソレモ分テ居リマセヌカ

○政府委員(長瀬貞一君) 只今ノ點ハ私共  
下ダラレタト同率デアリマセウカ、ソレト  
テ居リマスト、三千万圓ガ朝鮮米、臺灣米  
其テニ使用スルト云フコトニナッテ居リマ  
シテモ、四億八千万圓ト一ツニナッテ居レ  
バ、其三千万圓以上ヲ其方ニ向ケテモ差支  
ナイ、又ハ三千万圓ノ方ニ一方ガ喰ヒ込ン

スカラ、ハキリ致シテ居ル所マデハマダ  
リマスルト、モウ直チニ之ヲ發表イタシマ  
シテ、サウシテ買入、賣拂ノ告示ヲ致スコ  
トニスルノデアリマス、早耳筋ト云フ風ナ  
者ガアリマシテ、ドウカスルト妙ナ米ノ高下  
ヲ見ルト云フヤウナコトヲ度々私共聞カサ  
レテ居リマス、此點ハ十分慎重ニ、十分ノ  
場ト云フモノガアリマシテ、告示サレルヤ  
急ニ米ガ一時的ニ上ルヤウナ節ガアルノデ  
アリマスガ、此正米相場ト云フモノニ關シ  
マシテ、何カ的確ナ御考デモアリマセウカ  
リマスカ

○眞野文二君 山之内委員、片桐委員カラ  
モ既ニ御質問ニナッテ即答ガアリマシタノ  
デ、大體分、テ居リマスケレドモ、尙ほ少シ  
ク伺ヒタイコトガアルノデス、三千万圓ノ  
問題デアリマスガ、四億五千万圓ガ四億八  
千万圓ニ修正ヲサレタ、ソレハ四億五千万  
圓トナッテ居テ、三千万圓ガ別ノ案ニ出テ  
居テモ變リハナイト云フ御答ノヤウニ伺  
テ居ツタノデアリマスガ、或ハ私ガ聞達ヒ  
デアッタカモ知レマセヌガ、其間ニドウモ  
差ガアルカト思フ、即チ四億八千万圓トナ  
テ居リマスト、三千万圓ガ朝鮮米、臺灣米  
シテモ、四億八千万圓ト一ツニナッテ居レ  
バ、其三千万圓以上ヲ其方ニ向ケテモ差支

デ行テモ差支ナイ、斯ウ云フヤウニソコハ  
自由ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、其  
點ガ別ニ法令ガ一ツニナッテ居ルノトニツ  
ニナッテ居ルノト違フノデハナイカ、斯ウ  
云フ風ニ考ヘラレマスガ、其點如何デアリ  
マスカチヨット御伺イタシマス

○政府委員(長瀬貞一君) 政府ノ提出イタ  
シマシタ所ノ米穀應急施設法ノ附則ノ「本

法ニ依ル米穀ノ貸付竝ニ朝鮮米及臺灣米ノ  
買入、賣渡、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ

歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシ  
ム」トスウゴザイマシテ、サウシテ要スルニ

臺鮮米ノ買入ガ米穀需給調節特別會計法ニ  
依ル會計ニ屬スルト云フ意味ヲ現ハシテ居

ルノデアリマス、其次ニ持テ參リマシテ、  
「特別會計法第四條ノ三ニ定ムル最高金額

ハ昭和九年度末迄ハ四億八千万圓トス」斯  
ウ認メテゴザイマスノデアリマス、今回ノ

修正案ニ依リマスト云フト、唯一本デ四億  
八千万圓ト、斯ウ變ルコトニ相成リマス、  
文字ノ書キ方ハ別デアリマスガ、齊シク米  
穀需給調節特別會計法ニ依ル會計ニ屬セシ  
メルト云フコトデアリマシテ、豫算ノ立テ  
方ハ此前ノニ致シマシテモ、後ノ議院提出  
案ノ方ニ致シマシテモ、何レハ需給特別會  
計法ニ依ル會計一本ニ相成リマス、從ヒマ

シテ幾分ノ流用ト云フコトハアルカモ知レ  
マセヌケレドモ、併シ是ハ趣旨モ臺鮮米ノ  
趣旨デ出來テ居リ、其意味ガ速記錄ニモ載  
テ居ルノデアリマスカラ、是ハドウシテモ  
扱上甚シイ混同ヲ起サヌヤウニ、運用者ト  
シテハ運用シテ行カナケレバナラナイコト  
カト存ジテ居リマス、唯其違ノゴザイマス  
ル一點ハ、前ノ政府提出ノ案デゴザイマス  
ルト、此三千万圓ノ殖エマスノハ、「昭和九  
年度末迄ハ」ト云フ期限附ニナッテ居リマ  
ス、ソレカラ議院提出ノ方ニナリマスト、  
米穀法ノ改正ニ入りマシタカラ、是ハ無期  
限ト云フコトニナリマシタ、其點ノ差別ハ  
ゴザイマス

○眞野文二君 只今ノ點ハ能ク了解イタシ  
マシタ、尙ホ外ノコトデゴザイマスガ、ソ  
レハ問題ニナッテ居リマス生産費ノコトデ

アリマス、生産費ノ御調ガ容易ニ付カヌト  
云フコトデアリマシタ、是ガ御急ギニナッ  
テ假ニ出來タト致シマスレバ、ドウ云フヤ  
ウナ風ニ此生産費ガ率勢ノ率ノ上ニ現ハレ  
ル譯デアリマスカ、大體其模様ガ伺ヘマス

基準ニ取り用キラレマスノハ、只今御説ノ  
ゴザイマシタ此米穀法施行令ノ第三條米價  
指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依  
テ算出イタシマスノデアリマス、即チ率勢  
米價デアリマス、其下値二割ニ相當スル價  
格ヲ出シマス、ソレデ現在ニ於キマシテハ  
リティ「率ヲ「リスト・スクエア」ノ方法デ

御計算ニナルト云フコトハ能ク了解イタシ  
其一本ノ値段ヲ上リ下リ致シマスル、其値

マシタ、ソコニ尙ホ生産費ヤ他ノ費用ヲ考  
ノ中ニ御入レニナルト云フコトガアルヤウ  
デゴザイマスガ、ドンナ風ニソレガ入ルコ  
トニナリマスカ、例ヘバ生産費ト云フモノ  
ガスッキリ茲ニ分ッタト致シマスレバ、ドン  
ナ工合ニ其生産費ガ率勢ノ上ニ現ハレテ來  
ルノデアリマスカ、之ヲ伺フコトガ出來レ  
バ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(長瀬貞一君) 御答申上ゲマ  
ス、生産費ノ調べハ昨年一回之ヲ行ヒマシ  
タノデアリマス、ナカノ一年デ到底自  
信ノアルモノハ得ラレマセヌト思ヒマスノ  
デ、引續キ此調ベヲ行ヒタイト存ジテ居リ  
マスガ、本年ノ調べハ十二月五日頃ニハ農  
林省ニ纏マルコトニナッテ居リマスカラ、之  
ヲ修正整理イタシマシテ、サウシテ物ニナ  
リマスノガ十二月ノ十日頃ニハ完了イタス  
コトト存ジテ居リマス、ソコデ是ガ米價ノ  
無論原案ハ農林大臣ガ其米穀委員會ニ出ス  
コトニナリマス、其場合ニ於キマシテハ矢  
張リ一般ノ社會事情、經濟事情、殊ニ米穀  
事情、本年ノ殘存米持越高ノ額デアリマ  
ストカ、或ハ米穀ノ第二回ノ收穫豫想ノ數  
デアリマストカ云フ、色ニ先行見込ノ材料  
ニナリマス數ヲ取捕ヘマシテ、之ニ適當ト  
認ムル判断ヲ加ヘマシテ、委員會ノ御審議  
ヲ仰グコトニ、實際ノ運用ハナルコトト存  
ジマス

○眞野文二君 モウ一ツ伺ヒタイトコトガア  
リマス、ソレハ此米穀需給調節特別會計法

段ヲ割リマスル場合ニ始メテ出動スルコト  
ニナッテ居リマスルガ、之ニ生産費ヲ反映セ  
シメテ參リマスルト云フ具體的方法ハ、率  
勢米價ノ下値二割ト、ソレカラ生産費ガ決  
マリマシタラバ、其生産費ト其兩方ノ間ニ  
於キマシテ、ソレヲ基礎ニ致シマスルガ、  
實際ハ此施行令ニ依リマスルト、其間ニ於  
キマシテ適當ト認ムル所ヲ發見シテ、サウ  
シテ其適當ト認ムル所一本ニ基準價格即チ  
發動ノ線ヲ一ツ引クコトニ相成リマスル譯  
デアリマス、其下値二割、率勢米價ノ下値  
二割ト生産費トノ間ニ於テ適當ナ所ニ決定  
イタシマスルノハ、即チ米穀委員會ニ於キ  
マシテ御審議ヲ頂クコトニナリマスルガ、  
無論原案ハ農林大臣ガ其米穀委員會ニ出ス  
コトニナリマス、其場合ニ於キマシテハ矢  
張リ一般ノ社會事情、經濟事情、殊ニ米穀  
事情、本年ノ殘存米持越高ノ額デアリマ  
ストカ、或ハ米穀ノ第二回ノ收穫豫想ノ數  
デアリマストカ云フ、色ニ先行見込ノ材料  
ニナリマス數ヲ取捕ヘマシテ、之ニ適當ト  
認ムル判断ヲ加ヘマシテ、委員會ノ御審議  
ヲ仰グコトニ、實際ノ運用ハナルコトト存  
ジマス

三



シマシタヤウナ方法ニ依リマシテ、買上時

期ト云フモノノ調節ヲ圖<sup>シ</sup>テ行キタイト斯

様ニ考ヘテ居リマス

○眞野文二君 私ハ能ク分リマセヌノデア

リマスガ、只今ノ御話ニ依リマスト、其時

期ハ成ルベク小作米ヲ持<sup>フ</sup>テ居<sup>フ</sup>テソレヲ手

離ス時分ニ買フヤウニシタイト云フコトハ、

至極御尤ノコトデアルト思ヒマス、唯私ガ

疑フ持<sup>フ</sup>テ居リマスノハ、サウ云フ風ニサ

レルコトハ此法案ノ目的ニ副フコトダ、即

チ米價ノ價ヲ調節シテ行ク上ニ於テハ誠ニ

效果ガア<sup>リ</sup>テ、結構ダト思<sup>フ</sup>テ居リマスガ、

詰リ米ノ値段ガ非常ニ暴落シテ安クナル、

規定ノ代價ヨリモ下<sup>タ</sup>タル云フヤウナ場合

ニハ米ヲ買上<sup>ス</sup>ゲル、併シ米ヲ買上<sup>ス</sup>ゲル時分ニ

ハ丁度小作米……小作人者ガ米ヲ持<sup>フ</sup>テ居

レバ宜イガ、其時ニハ手離シテシマ<sup>シ</sup>テ小

作人ノ手ニハ米ガ無ク、寧ロ自分ノ食フ米

ヲ買<sup>フ</sup>テ食<sup>フ</sup>テ居ルト云フ時期デハナイカ、

米ノ代價ガ高イノヲ買<sup>フ</sup>テ來ルト、高イ米

ヲ食ハナケレバナラヌ、救濟ノ趣旨ニハソ

レデハ合ハナイト云フコトニナルノデヤナ

イカ、米ノ調節ト云フコトニハソ

居ル、又外ノ丁度米ノ出ル時分ニ買フヤウ

ニシヤウト云フ御精神ニハ贊成デアルノデ  
アリマスガ、唯兩方ガ丁度合ハナイ時ニハ、  
ドンナモノデアリマスカ、例ヘバ一方ニ於  
テ米ガ暴落シテ茲デ買上<sup>ス</sup>ゲレバナラヌ、  
サウ云フ場合ニハ農家ノ手ニハ米ガナイ、  
ト云フヤウナコトニナッテ、ソコガドウモ合  
ハナイヤウニナリハシナイカト私ハ疑フノ  
デアリマス

○政府委員(長瀬貞一君) サウ云フ譯デゴ  
ザイマスカ、例ヘバ梅雨ニモ夏ニモ一時非  
常ナ低值ヲ現ハシマシテモ、其頃ニハ寧ロ  
或ル農家ノ如キハ勿論既ニ手離シテシマッ  
テ、買<sup>フ</sup>テ足サナケレバナラヌヤウナ時期  
デゴザイマスカラ、サウ云フ時期ニハ調節  
買上ト云フコトハ、率勢米價ヲ割<sup>フ</sup>テ居リ  
マシテモ致サナイト云フコトニシテ居リマ  
ス、ソレカラ十二月頃ニハマダ所ニ依リマ  
スト云フト、地主ニ對シテ小作米ノ納付ヲ  
終<sup>フ</sup>テ居リマセヌ、マダ小作人ノ手ニ在ル  
モノガ相當アリマス、十一月ニハ一層マダ  
リマスカ

○眞野文二君 尚ホ伺ヒマスガ、此法案デ  
ハ米ヲ一月トカ十二月トカ或ハ十一月トカ  
云フヤウナ、丁度買ヒタイト思フ時ニハ買  
フコトハ出來ナイト云フコトニナルノデア  
リマスカ

○政府委員(長瀬貞一君) 此法律案ニ於キ  
是等ノ時期ヲ見計ラヒマシテ、成ルタケ共  
手ニアル間ニ一ツ買上<sup>ス</sup>行ヒ、地主ノ方  
ニ納メテ尙ホ販賣スベキ餘力ガアルモノ  
ハ、現在手ニ持<sup>フ</sup>テ居ル、サウ云フ場合ニ米  
價基準ノ發動ガ出來得ルナラバ、サウ云フ

モノヲ買上<sup>ス</sup>ゲタイ、併シ實ハ基準ヲ割<sup>フ</sup>テ  
迄下<sup>タ</sup>シマフト云フコトハ餘り好マシ  
イ状態デハゴザイマセヌケレドモ、サウ云

フコトニナラナイ前ニ、玄米、糲ノ貯藏ト

云フコトヲ行ヒマシテ、相成ルベク米穀法

ガ發動シナイデ濟ムヤウニシテ、愈、米穀

法ト云フ最後ノ刀ヲ拔クト云フ場合ガ成ル

ベク早ク來ナイヤウニシテ、其前ニ當<sup>ル</sup>テ

色々朝鮮米ノ處置デアリマストカ、或ハ米

ノ共同保管デアリマストカ、サウ云フ風ナ

方法ヲ講ジマシテ、其處ニ至ラシメナイデ

置カウ、斯ウ考ヘテ居リマス、サウ云フコ

トニスルニハ出來ルダケ小農ガ米ヲ持<sup>フ</sup>テ

居ルコトガ出來ル時期ニ、早ク仕事ヲ始メ

タイ斯様ニ考ヘテ居リマス

○眞野文二君 尚ホ伺ヒマスガ、此法案デ

ハ米ヲ一月トカ十二月トカ或ハ十一月トカ

云フヤウナ、丁度買ヒタイト思フ時ニハ買

フコトハ出來ナイト云フコトニナルノデア

リマスカ

○政府委員(長瀬貞一君) 此法律案ニ於キ

是等ノ時期ヲ見計ラヒマシテ、成ルタケ共

手ニアル間ニ一ツ買上<sup>ス</sup>行ヒ、地主ノ方

ニ納メテ尙ホ販賣スベキ餘力ガアルモノ

ハ、現在手ニ持<sup>フ</sup>テ居ル、サウ云フ場合ニ米  
價基準ノ發動ニ出ナケレバナラヌヤウニナリ

マシタ、出廻リ數量ガ多イ時ニハ下ガルト  
云フ傾向ハ已ムヲ得マセヌノデ、自然サウ

ルヤウナ順序ニナルヤウデアリマス

○眞野文二君 尚ホ御答ガアリマシタノデ  
アリマセウガ、私聞漏シマシタカ知レマセ

ヌガ、此前ニ御買上<sup>ス</sup>ゲニナッタ時分ニハ、御

買上<sup>ス</sup>ゲニナッタ金ガ農民ノ方ノ手ニ這入<sup>タ</sup>ノ

ト云フモノノ手ニ渡<sup>タ</sup>ノデアリマスカ、其

デアリマセウカ、或ハ多ク商人トカ大地主

ト云フモノノ手ニ渡<sup>タ</sup>ノデアリマスカ、其

調査ガアレバ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(長瀬貞一君) 昨年ノ十一月ニ

只今申シマシタヤウニ、率勢米價ノ下<sup>タ</sup>値ヲ

割リマシタノデ買上<sup>ス</sup>ノ發動ヲシタ譯デアリ

マス、ソレニ依リマスト云フト、大體此生

産者ヲ優遇シテ貴ヒタイト云フ御希望ガ相

當多カ<sup>タ</sup>ノデアリマス、從ヒマシテ此際ハ

豫定數量ノ六割迄ハ農業倉庫業者デアリマス

トカ、販賣組合デアリマストカ、或ハ農會等ノ

モノハ皆生産者側デアリマス、ソレニ優先權

ヲ認メマシテ、サウ云フ實際生産者ノ方ノ

側ノ米ヲ澤山取ルト云フコトニ向ヒ、残リ

ノ四割ハ順位ヲ設ケマセヌ所ノ一般農村ニ

依<sup>フ</sup>テ買<sup>フ</sup>タ次第デアリマス、尙ホ將來モ斯

ウ云フ實際ノ生産者ヲ優先サセテ貴ヒタイ

ト云フヤウナ希望ガ相當アルヤウデアリマス

ス、能ク時宜ノ適當ナルヲ見定メマシテ生産者ノ方ノ米ヲ相當買取ルト云フコトガ出来ルヤウニ、發動ノ場合ニハ取計ラッテ参リタイト思ヒマス

○絲原武太郎君 チョット只今率勢米價ノコトニ付テ御質問ガアリマシタノデ、關聯シテ御尋ネシタイト思ヒマス、率勢米價ノ算出法ハ承<sup>シ</sup>テ居リマスルガ、此率勢米價ニ依リマス所ノ所謂基本米價ノ發動ニナリマスコトハ、此米穀法ノ施行令ニアリマス所ノ上二割下二割上下四割ノ方針ニナッテ居ルノデアリマスデ、之ノ理由ニ付キマシテハ、豫テ承<sup>シ</sup>テ居リマス如ク、物價指數ノ高低ニ依<sup>テ</sup>テ御決定ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、此四割ノ開キト云フモノハ相當大キナ開キデアル、是ハドウモ多少ノ據リドコロガアッテ御決定ニナッテ居ルカ知ラヌケレドモ、ドウモ品物ノ價格ヲ假ニ算定スルニ於テ、此四割ノ開キト云フモノハ隨分大キイ開キデアル、殊ニ此何ハ、事ニ依ルト一年間ニ四割ノ開キガ起ルコトモ無キニシモアラズト考ヘルノデアリマス、從テ此開キヲ小サクシタナラバ、今少シク此生産者ニモ消費者ニモ其關係ヲ及ボスコトガ圓滿ナラシメハシナイカ、斯ウ云フヤウニ思ハレルノデアリマス

ガ、是ハ如何御考ヘニナリマスカ、尙又此率勢米價ノ算出法ノ基本ハ明治三十三年以來數十年來ノ物價指數ガ標準ニナッテ算出セラレテ居ルノデアリマス、其基ハ日本銀行ノ物價調べ調査標準ガ、五十幾ツカノ種類ノ物價ヲ見ルコトニナッテ居ルヤウデアリマス、所ガ米價ヲ決定セラレマス所ノ率勢米價ト物價ノ關係ハ、東京ニ於テノ物價ニ依<sup>テ</sup>テ之ヲ御決定ニナルノデアリマスガ、生産者ハ東京カラ非常ニ離レタ各地ノ生産業者ガ此東京ノ物價ノ指數ノ動キニ依<sup>テ</sup>之ヲ律セラレルト云フコトハ、果シテ公平デアルカ、此二ツノ論ガアルヤウデアリマスガ、之ニ付キマシテドウ云フ御感想ヲ御持チニナッテ居リマスカ

○政府委員(長瀬貞一君) 初メノ四割ノ值

ハドウモ多少ノ據リドコロガアッテ御決定ニナッテ居ルカ知ラヌケレドモ、ドウモ品物

ノ價格ヲ假ニ算定スルニ於テ、此四割ノ開

キト云フモノハ相當大キイ開キデアル、殊ニ今少シ此四割ト云フモノヲ狹ヌルコトニ付テノ意見如何ト云フ御尋ノヤウニ承リマシタ、デ此率勢米價ノ上値二割、下値二割ト申シタ、此率勢米價ノ定マリマシタ基準ハ、ト申シマスルコトノ定マリマシタ基準ハ、

多ク概觀イタシマシテ、長イ年月ノ間ノ物

價ノ高低ノ率ヲ見マスト、相當大キイ所ヲ包含イタシマシテ、此上リ下リヲ見マシテ

モ、先<sup>シ</sup>一割八分七厘程度ノ上リ下リニナラ

テ居ル、從ヒマシテ之ヲ先<sup>シ</sup>大體平均シテ

基準ヲ設ケマスル時ニ、先<sup>シ</sup>日本銀行ノ物

價指數ト云フモノガ抑モノ根據ニナリ、併セテ之ニ較ベルノガ、所謂標準米ト云フモノガ之ニ較ベラレマスルガ、ソコニ地方ノ農家ノ庭先相場ト云フモノガ相當ノ開キガアルノデハナイカト云フ御尋ネシタヤウニシキ暴騰、値上リ、甚シキ値下リト云フモノヲ抑制イタシマシテ、普通ノ騰落ノ範圍ハ之ヲ一應其儘認メル、サウシテ其騰落ノニナッタ場合ノ値幅ヲ縮メテ、抑制シテ參<sup>ス</sup>此標準米ト率勢米價下値二割トヲ比較イタシマシテ、サウシテ愈、買發動ニ出ルト云フ場合ニ於キマシテハ、其買上價格ハソレゾレ其地方々々ノ時價ニ依<sup>テ</sup>買上<sup>シ</sup>ダルノデアリマシテ、庭先カラ例へバ其他方ノ小集散地ニ持<sup>シ</sup>テ參リマス場合ニハ、矢張リ其小集散地ニ行ハレテ居リマスル所ノ時價、即チ買上ゲント欲スル日ヨリ遡ルコト前日カラ一週間ト云フモノヲ遡リマシテ、其間ノ大體時價ヲ見テ、穩當ト認メル所ヲ定メルノデアリマスカラ、發動ハ成程中央ニ於テ或ル基準ノ下ニ發動ヲ致シマスルガ、實際之ヲ買上ゲマスル場合ニ於テハ、是ハ其地其他ノ時價ニ依<sup>テ</sup>買上ゲル、斯ウ云フコトデ均衡ヲ取<sup>シ</sup>テ行ケルノダ、斯様ニ考ヘテリマス、御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○絲原武太郎君 只今ノ御説明デ能ク了承イタシマシタ、私第二ニ御尋ネ致シマシタノハ、只今東京デ所謂日本銀行ノ物價指數ヲ以テ發動ノ基本トセラレル、所謂此物價

<p>指數ヲ以テ……而シテ此率勢米價ノ率ヲ御定メニナル、此物價其モノガ東京ノ物價指數ヲ以テ決定セラレル、而シテ此米ノ生産地ハ東京カラ非常ナ程度ノ異ニタ地方ニ於テ是ガ生産セラレルト云フコトニ付テ、ドウ云フ御考デゴザイマスカ、斯ウ云フ御問デゴザイマシタ</p>
<p>○政府委員(長瀬貞一君) 矢張リ前ノ御答ヲ繰返スヤウニナルカモ知レマセヌガ、東京デ定メマス所ノ基準米價ハ矢張リ日本銀行ノ物價指數ヲ用キテ、引出シマスル所ハ、率勢米價ノ上下二割ト云フコトニ相成リ、更ニ之ニ比較スペキモノハ直チニ採ッテ以テ地方ノ此庭先相場ヲ較ベルニ非ズシテ、詰リ米穀法ノ四條ニ定メマスル所ノ米價ト云フモノヲ用キルノデアリマス、其米價ハ神田川ノ標準中米、深川ノ中米竝ニ大阪ノ道頓堀ノ中米等、標準市場ニ於キマスル所ノ總テノ賣買ノ總平均、之ヲ採用キマシタモノ、率勢米價下値二割ト云フモノニ引較ベマシテ、其騰落ニ依テソレガ率勢米價下値ニ始メテ發動スル譯デアリマス、從ヒマシテ地方ニ於テ買入レマスル場合ニ於テ</p>
<p>○政府委員(長瀬貞一君) 此率勢米價ト云フノハ實ハ極メテ冷ヤカナ抽象的ノ趨勢價格デアリマス、即チ明治三十三年十一月以來此率勢米價ノ規定ヲ定メル時マデニ至リマス所ノ年々ノ米價ガ、年々ノ物價平均指數ト云フモノニ對シマスル割合、即チ年々ノ米價率ヲ算出イタシマシテ、其米價率力ノ致シマシテ、米價ノ趨勢價值ト云フモノヲ彈キ出シマシテ、所謂最小自乘法ニ依リマシテサウ云フモノヲ彈キ出シマシテ、ソレヲ決メント欲スル月ノ前月ノ物價指數ニ乗ジ、之ヲ以チマシテ明治三十三年十一月ノ米價デアリマス所ノ十一圓八十一錢ト云フモノニ乗ジマシテ出スノデアリマスカ</p>
<p>○政府委員(長瀬貞一君) 先程申上ゲマシタルト云フコトヲ申上ゲマシタ譯デアリマスルト、發動回數ガ多クアリ得ル規定ニ致シマシテハ基準米價ニ拘ラズ發動ガ出來マスカラ、基準米價存在時代ト比較イタシシテ、若シ率勢米價ガ無クナレバ、理窟トテ彈キ出シマシテハ基準米價ニ拘ラズ發動ガ出來マスカラ、現在ノ設備ハ米穀倉庫、是ハ官設即チ政府所有倉庫ガ、殆ド萬棟ニ近クナラテ居リマス、併ナガラ尙ホ農業倉庫ハマダーリ、餘力ガゴザイマス、約六百八十七万石バカリノ收容力ヲ有テ居リマス、尤モ全部トハ申シマセヌ、餘力</p>

ハソレヨリ減リマセウケレドモ、マダ相當ニ之ヲ用ウルコトガ出來ルト考ヘテ居リマ

ス、只今申シマシタノハ營業倉庫デアリマス、農業倉庫ト申シマシタノハチヨット讀

ミ間違タノデアリマス、營業倉庫、民營ノ倉庫デアリマス、是ハ實ハ此日本倉庫聯合

會ノ調査ニ依ルノデアリマシテ、數ガ限ラレテ居リマス、此東海區ソレカラ近畿區邊

リニハ相當見テ居リマスケレドモ、中國區四國區邊リニハ一つノ倉庫モ見テ居ナイト

云フ風ニ、相當其中カラ極メテ僅ナモノヲ引出シマシタケレドモ、ソレデモ矢張リ餘力ガゴザイマスルシ、又此農業倉庫方面デモ、約七百万石バカリノ力ヲ有<sup>テ</sup>居リマスガ、其餘力モマダ相當ゴザイマスノデ、現在倉庫設備ト致シマシテハ、マダ相當ノ米穀法ノ買上發動ガゴザイマシテモ保管ニ困ルト云フコトハ、今日ノ所デハナイト考ヘテ居リマス

○内藤久寛君 只今後藤農林大臣ガ御出席ニナリマシタノデスガ、此臨時議會ハ更ニマダ一兩日ノ會期ガ御延期デアルヤウナ說モアリマスガ、マダ御極リニナリマセヌカ

○國務大臣(後藤文夫君) 更ニ一日延期ノコトニ多分モウ發表ニナッタラウト思ヒマカ

ス

○副委員長(子爵井上匡四郎君) 先程事務

局ノ方カラ非公式ニ發表ニナッタヤウデア

リマス

○國務大臣(後藤文夫君) マダ御裁可ヲ得

テ居ラヌケレバ、發表スル時期ニナッテ居

リマセヌカモ知レマセヌ

○副議長(子爵井上匡四郎君) 別ニ差當、

テ御質問モナケレバ、只今農林大臣カラ御

話ノヤウニ多分一日會期ガ延長サレルト思ヒマスカラ、是ハ殆ド確カグラウト思ヒマス、明朝十時カラ會合スルコトトシテハ如何デゴザイマセウ、若シ御異議アリマセヌ

デシタラ、今日ハ此程度デ散會イタシマス、ソレトモマダ正式ニ發表ガアリマセヌカラ

……正式ニ發表ガナインデアリマスカラ休憩ト致シテ置キマス、場合ニ依<sup>テ</sup>又本日會合イタシマス、ドウカ其御積リデ……

午後四時二十二分休憩

(其後開會ニ至ラズ)

出席者左ノ如シ

副委員長 子爵井上匡四郎君  
委員

子爵片桐 貞央君

眞野 文二君

男爵三須 精一君

山之内一次君  
内藤 久寛君  
絲原武太郎君

國務大臣  
農林大臣 後藤 文夫君  
農林省米穀部長 長瀬 貞一君

政府委員